

2016年7月29日  
総務省統計局

## 家計調査結果 遡及改定についてのお知らせ (消費者物価指数の2015年基準改定に伴う改定)

2016年8月に、消費者物価指数(以下CPI)が2015年基準に改定されます。これに伴い、家計調査においても、家計収支編及び家計消費指数の集計結果について、実質化の基準年を2010年から2015年とし、実質増減率等を遡及改定いたします。また、季節調整値等における系列の一部削除を含む変更を行います。概要は、下記のとおりです。

記

### 1. 改定・変更する系列

<<家計収支編>>

	項目	改定・変更内容	該当期間
1	対前年同月(期)実質増減率、寄与度	・CPI前年同月(期)比改定に伴う改定	2016年1月～6月分、 2016年1-3月期及び4-6月期
2	消費水準指数	・CPI指数改定に伴う改定 ・基準年変更(2010年→2015年) ・季節調整法の変更(X-12-ARIMAの X-11デフォルト→X-12-ARIMA) ・作成系列の見直し <sup>注1</sup>	全期間(1981年1月～)
3	季節調整値	・CPI指数改定に伴う改定 ・基準年変更(2010年→2015年) ・作成系列の見直し <sup>注2</sup>	全期間 (二人以上の世帯:2000年1月～) (総世帯・単身世帯:2000年1-3月期～)

注1:「世帯人員分布調整済」の作成中止(「世帯人員及び世帯主の年齢分布調整済」は引き続き作成。ただし、「総合(除く移転支出)」は削除)。

注2:勤労者世帯の経常収入、10大費目、諸雑費の削除(勤労者世帯は、実収入、消費支出、可処分所得、平均消費性向のみを引き続き作成)。

<<家計消費指数>>

	項目	改定・変更内容	該当期間
4	家計消費指数	・CPI指数改定に伴う改定 ・基準年変更(2010年→2015年) ・電気掃除機の合成金額作成方法変更 ・単身世帯の「教育」削除	全期間 (二人以上の世帯:2002年1月～) (総世帯・単身世帯:2002年1-3月期～)  参考結果表(合成金額) 二人以上の世帯:2015年1月～ 総世帯・単身世帯:2015年1-3月期～

### 2. 公表予定

家計収支編 2016年8月30日(火) 8:30

家計消費指数 2016年9月13日(火) 14:00

### 3. 留意事項

ホームページ掲載のファイルについて、家計収支編は基本的に上書きして差替えます。ただし、2016年1～6月分の「月報」(結果の概要PDFファイル等)は2010年基準のままとします。また、家計消費指数は、基準年ごとに別ファイルを追加します。